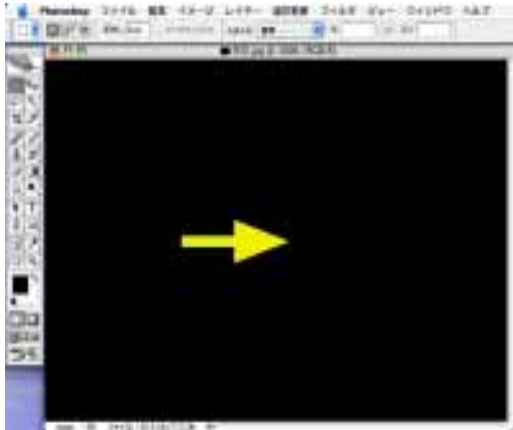


## 動画編集ソフト (Final Cut Pro) を使った映像説明用矢印挿入技法



1. まず最初にフォトショップなどのソフトで480 X 720ピクセル画像で黒背景に矢印を作成します。矢印の作り方は、下記URLを参照してください。

<http://retouch-weblab.com/kennkyuu/arrow/arrow.html#hukusei>

出来ましたら、通常のJPEG画像で”矢印”などの名前で保存しておいてください。

2. 次にFinal Cut Proの操作になります。

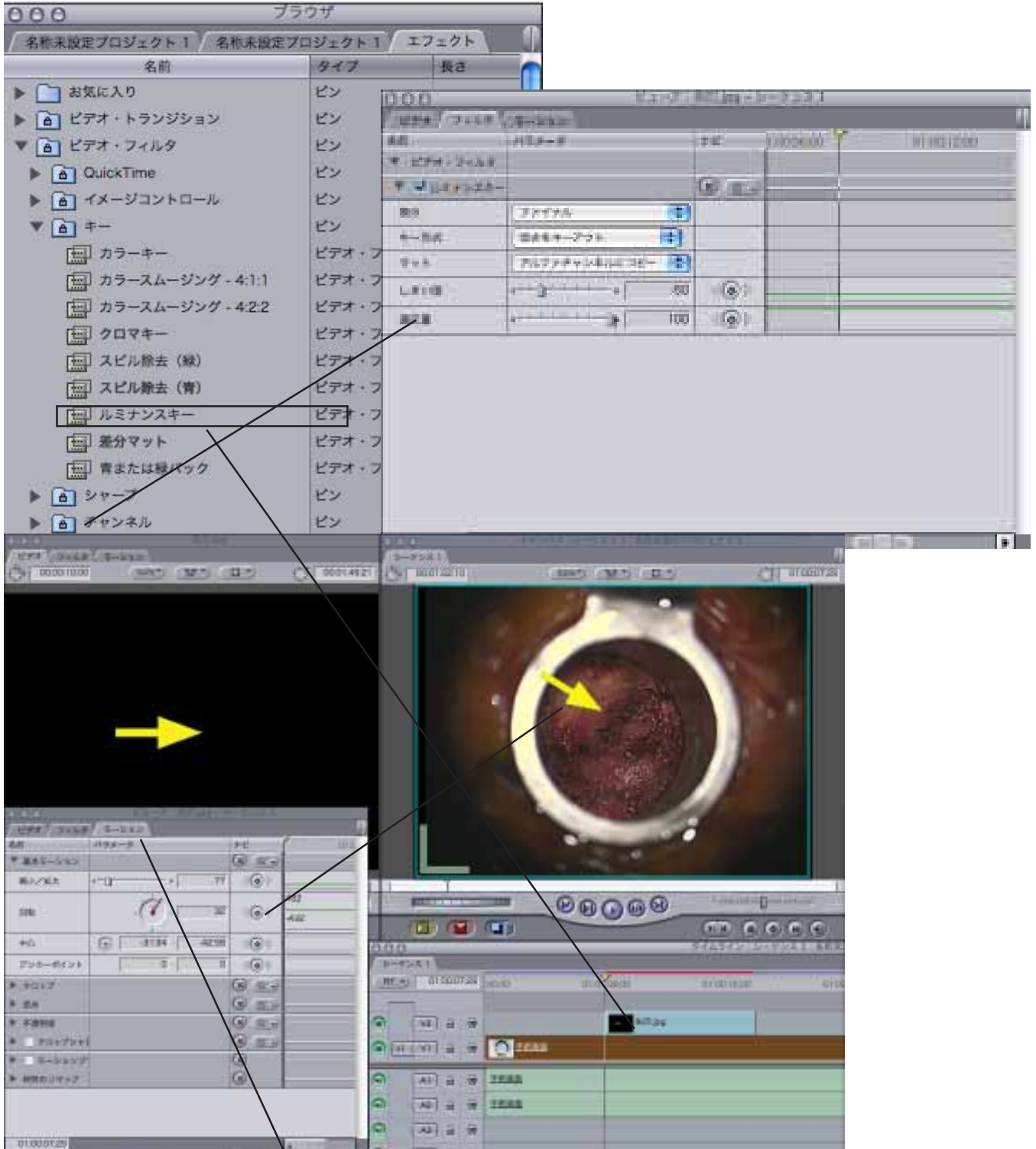
ファイナルカットプロのプロジェクトファイルに編集したい動画と先ほど作成した矢印の静止画像を用意します。



矢印を挿入したいタイムライン上に矢印.JPGをドラッグします

3. 次にブラウザからエフェクトに切り替えます。

エフェクトのキーを開きルミナンスキーを選択します。ルミナンスキーをドラッグしタイムライン上の矢印.JPGにかぶせます。タイムラインは矢印を乗せたところに移動しておきます。矢印静止画をダブルクリックし矢印のプレビュー画面からフィルタを選択します。キー形式：暗さをキーアウトを選択します。しきい値：で抜けを調整します。



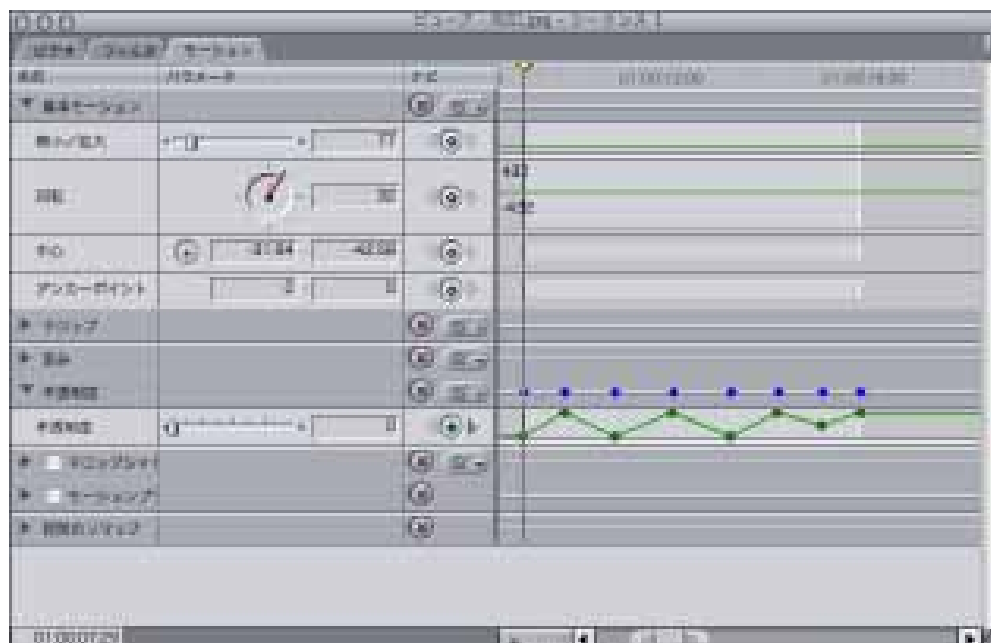
4. 次は、フィルターの隣のモーションを開きます。

拡大、縮小で矢印の大きさを調整します。回転で矢印の方向を変えます。また中心で、矢印のポジションを調整します。位置が決まりましたら、選択部分をレンダリングします。

5. 矢印の出し方をスムーズにインポーズしたり、フラッシュする方法です。



6. モーションの所の不透明度を選択、タイムラインを動かしながら不透明度の菱形マークをクリックします。すると緑のキーフレームが打たれてきます。4つのキーフレームをマークしますと、矢印のフェードインフェードアウトが出来ます。沢山打ちますと点滅をすることが出来ます。



7. キーフレームをつかんで下に下げると、矢印が薄くなり消えていきます。飛び飛びに下げると点滅する効果が得られます。

以上が矢印のスーパーインポーズ手法です。